

子どもの事故予防に向けて ～情報収集から製品開発へ～

経済産業省 デザイン・人間生活システム政策室

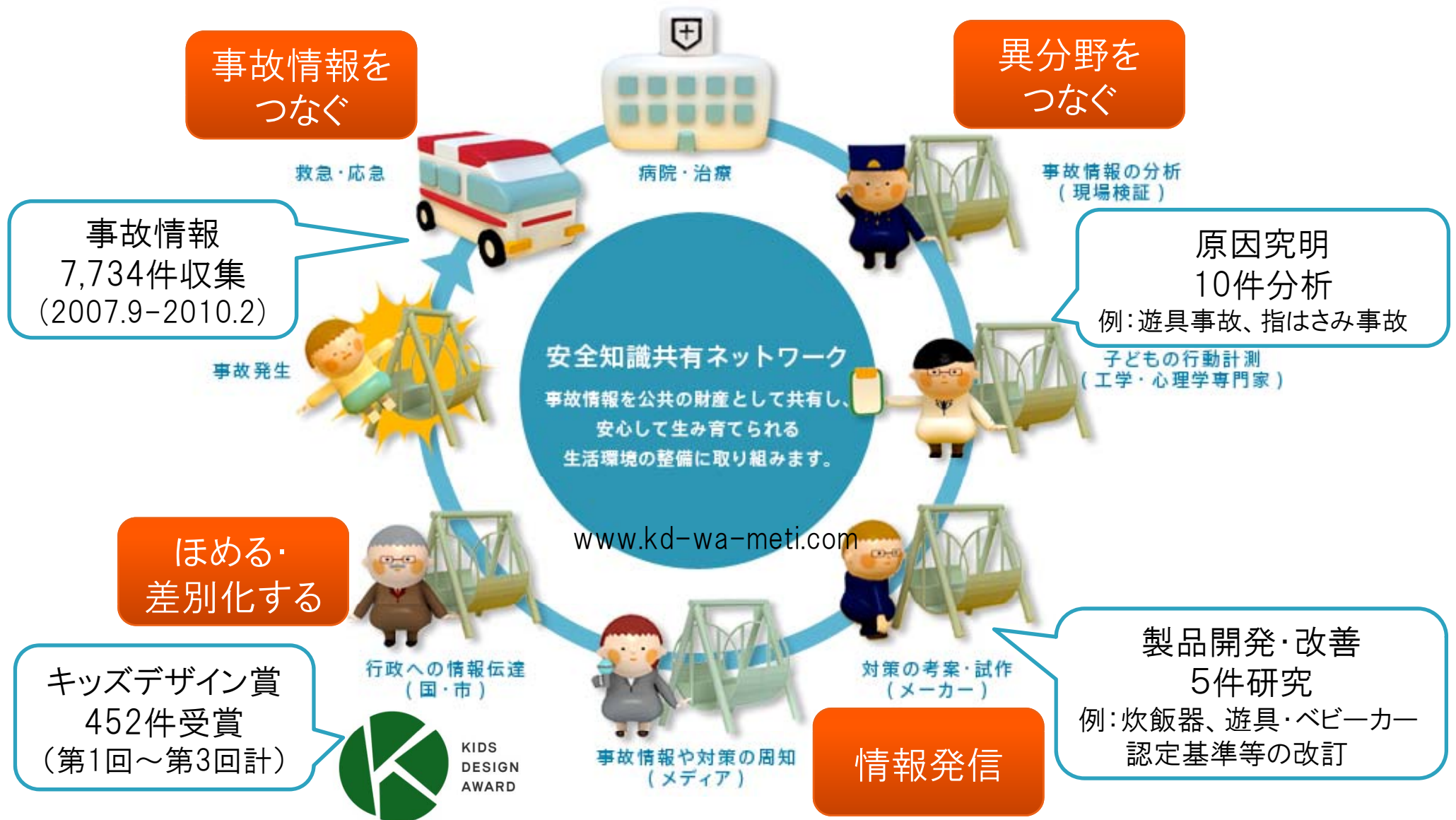
高木美香



「情報収集」から「製品開発」へ

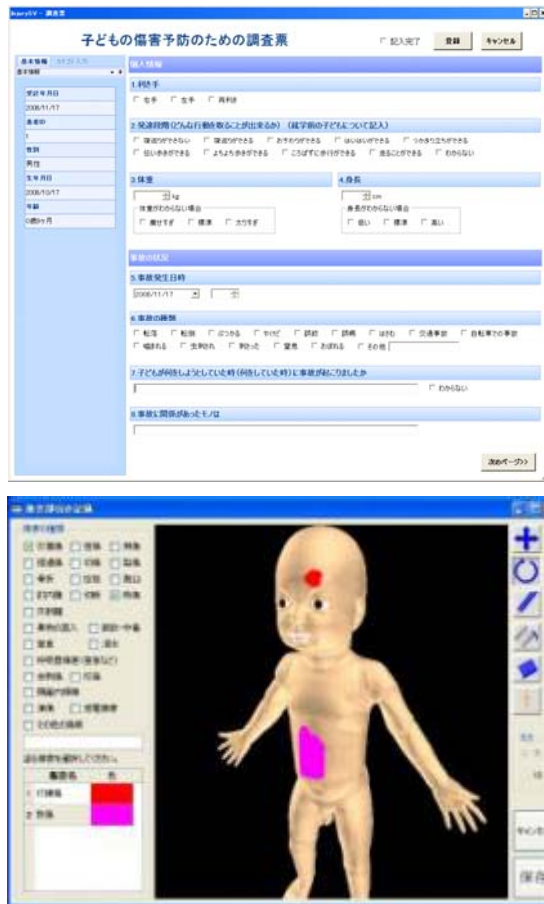
これまでの取組(平成19~21年度安全知識循環型社会構築事業)

「責任追及」から「原因究明」へ



事故情報収集((独)国立成育医療研究センター)

- (独)国立成育医療研究センターのトリアージで、子どもの事故情報入力ソフトを使って聞き取り調査を実施
- (独)日本スポーツ振興センターから遊具での事故情報を収集
- (独)国民生活センターとの連携



H20年度開発した事故サーベイソフト

事故情報の収集状況

本事業期間(2007年9月から2010年2月) 7,734件
(2006年11月から2010年2月 8,926件)

事故の状況

5. 事故発生日時
6. 事故の種類
7. 事故を起こした直前にしていた行動は
8. 事故に関係があったモノは
9. そのモノは子どもが日常よく使うものですか
10. また親が日常よく使うものですか
11. モノの詳細
12. 事故が起きた場所
13. 12の時の場所の詳細
14. 一緒にいた人は
15. 一緒にいた人は事故が起こった時に何をしていたか

救急部にて、調査項目

- 事故の種類
- 直前の行動
- 傷害の種類
- 傷害の部位
- 治療の種類

などの20項目を記入

事故データの分析①

		1位	2位	3位	4位	5位	
0～4歳		椅子 340人 8.3%	階段 319人 7.8%	ベッド 271人 6.6%	テーブル・机 220人 5.4%	自転車 212人 5.2%	
	0歳	ベッド 158人 18.1%	椅子 65人 7.4%	階段 41人 4.7%	小物 37人 4.2%	テーブル・机 35人 4.0%	
		椅子 128人 10.5%	階段 111人 9.1%	テーブル・机 67人 5.5%	自転車 54人 4.4%	タバコ 48人 3.9%	
	1歳	階段 96人 10.9%	椅子 79人 8.9%	テーブル・机※ 49人 5.5%	自転車※ 49人 5.5%	遊具 46人 5.2%	
		自転車 51人 8.2%	遊具 50人 8.0%	テーブル・机 43人 6.9%	椅子 36人 5.8%	階段 32人 5.1%	
	2歳	自転車 51人 10.5%	遊具 49人 10.1%	階段 39人 8.1%	椅子 32人 6.6%	テーブル・机 26人 5.4%	
		自転車 169人 14.4%	遊具 136人 11.6%	階段 72人 6.1%	ドア 65人 5.5%	自動車 48人 4.1%	
	5～9歳	5歳	自転車 31人 9.3%	階段 29人 8.7%	遊具 24人 7.2%	ドア 19人 5.7%	椅子 17人 5.1%
			遊具 43人 14.2%	自転車 42人 13.9%	ドア 24人 7.9%	階段 15人 5.0%	自動車 13人 4.3%
		6歳	自転車 38人 17.2%	遊具 29人 13.1%	階段 11人 5.0%	自動車 9人 4.1%	椅子 8人 3.6%
自転車 30人 16.7%			遊具 25人 13.9%	階段※ 8人 4.4%	ドア※ 8人 4.4%	自動車 7人 3.9%	
7歳		自転車 28人 20.3%	遊具 15人 10.9%	階段 9人 6.5%	ボール 8人 5.8%	ドア 7人 5.1%	
		自転車 64人 15.6%	ボール 57人 13.9%	自動車 30人 7.3%	遊具 29人 7.1%	階段 11人 2.7%	
8歳	自転車 6人 12.5%	ボール ※1 4人 8.3%	自動車 ※1 4人 8.3%	ドア※2 2人 4.2%	運動用具※2 2人 4.2%		
	自転車 451人 7.9%	階段 403人 7.1%	椅子 381人 6.7%	遊具 339人 5.9%	ベッド 291人 5.1%		
9歳	6人	11人	7人	5人	2人		
10～14歳	457人 8.1%	414人 7.4%	388人 6.3%	344人 5.7%	293人 5.1%		
15歳以上	6人	11人	7人	5人	2人		
全年齢	457人 8.1%	414人 7.4%	388人 6.3%	344人 5.7%	293人 5.1%		
年齢不詳	6人	11人	7人	5人	2人		
全体	457人 8.1%	414人 7.4%	388人 6.3%	344人 5.7%	293人 5.1%		

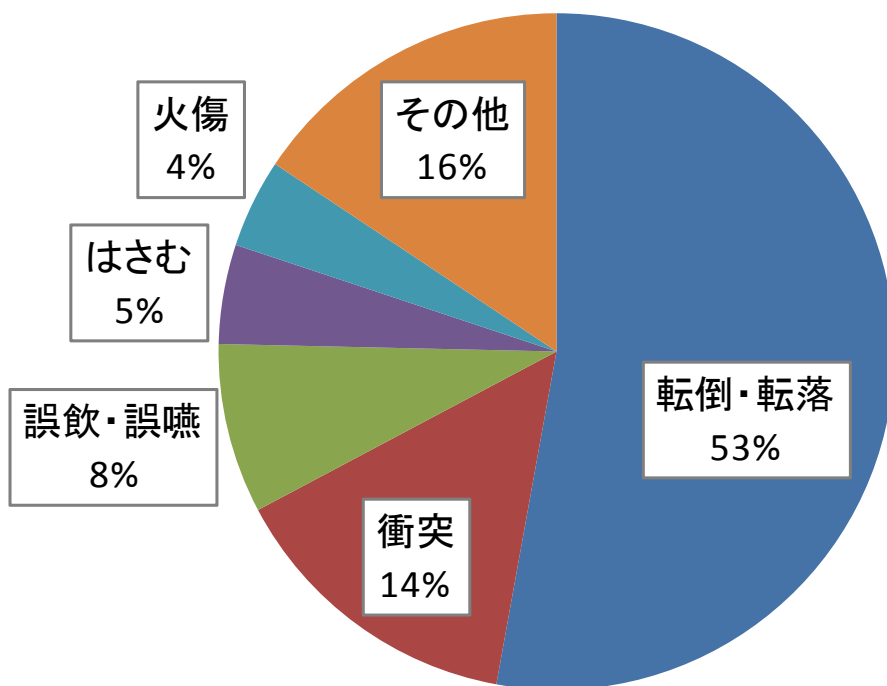
1位 自転車
2位 階段
3位 椅子
4位 遊具
5位 ベッド

データ: 8,334件(2006年11月～2009年10月までに取得したもの)のうち製品情報が記入されていた5,712件のデータを使用。

※は同順位を示す

事故データの分析②

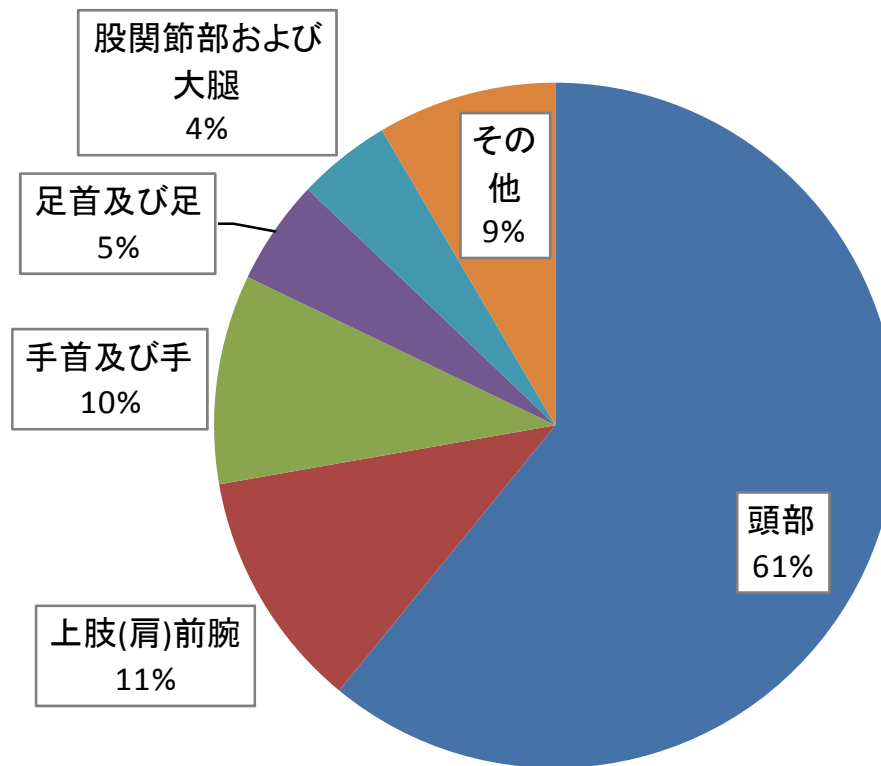
■ 事故の種類



データ:8,334件(2006年11月～2009年10月までに取得したもの)のうち年齢がわかる8,223件のデータを使用

第一位:転倒・転落
第二位:衝突

■ 障害部位

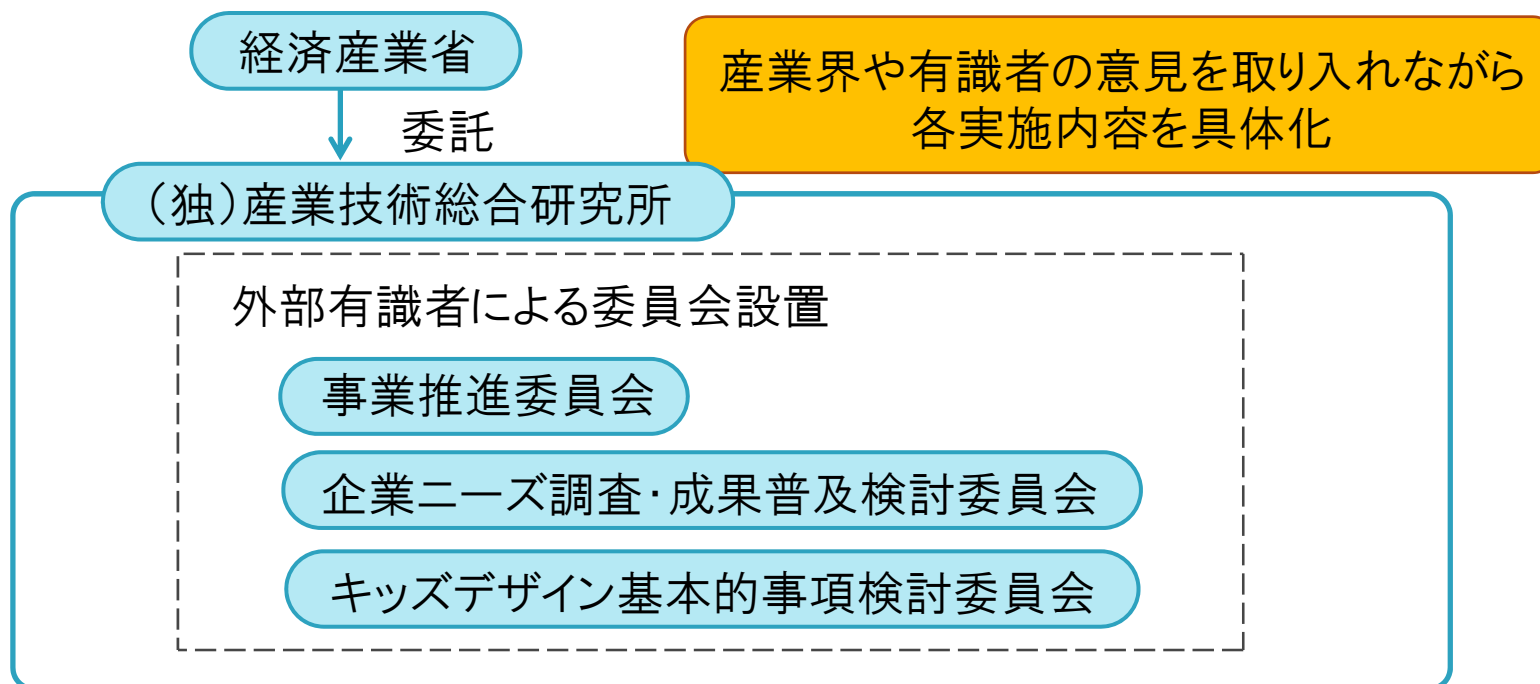


データ:8,334件(2006年11月～2009年10月までに取得したもの)のうち身体傷害情報があった7,726件を使用

第一位:頭部
第二位:上肢(肩)・前腕

平成22年度キッズデザイン製品開発支援事業の概要

- ・消費者庁・医療機関などに収集された事故情報をもとに、人間の特性・行動分析に強みを持つ研究者により原因究明等を行う。
- ・得られる科学的知見を企業や業界団体に提供することで、事故予防に配慮された安全・安心な製品開発や業界標準の作成を支援。
- ・製品の選択や使い方等に関して社会全体への効果的な情報提供等を行うことを通じて、安全安心設計のものづくりを産業界が積極的かつ持続的に推進していく体制の構築を目指す。



平成22年度キッズデザイン製品開発支援事業の実施内容

事故情報 収集等

- 傷害情報の収集
- 子どもの生体特性データ・行動特性計測

事故事例 分析等

- 共創プロジェクトの公募
- 解析技術等を用いた知識化
- 経済的社会的効果や関連情報などの調査

情報の 共有等

- 企業・業界向け事故情報共有・検索システムの開発
- 一般向け事故情報・対策情報共有システムの開発
- 一般向けの情報誌等の作成
- キッズデザインの基本的事項の策定
- イベント等の開催

今年度の事業スケジュール

共創プロジェクトの公募

公募開始：平成22年5月28日(金)
公募〆切：平成22年6月25日(金)18:00
審査会：平成22年7月14日(水)
採択者の発表：平成22年7月下旬

展示会・シンポジウム等

- キッズデザイン賞上位賞発表・表彰式
平成22年8月3日(火)・8月4日(水)
- キッズクリエイイトTOKYO2010 @幕張メッセ
平成22年8月27日(金)～29日(日)
- 第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議2010in浜松
平成22年10月30日(土)～11月3日(水・祝)